



美瑛町そだちの教室通信
6月号
2020年5月29日



通級が再開します。

桜の季節も過ぎ、そよ風の気持ちよさを感じる季節になりました。

およそ1ヶ月にわたる新型コロナウイルス感染症拡大防止の臨時休業もようやく終わりです。お子さんはもちろんのこと、保護者の皆さんにおかれましても不自由な生活を強いられたことでしょう。長期間のご協力、本当にありがとうございました。

学校の再開に合わせて通級も再開します。(1年生はいよいよスタートです。)6月8日の週から通常の通級曜日で指導を行います。詳細につきましては、下の日程表をご覧ください。

面談が終了しました。

初回の面談が終了しました。お忙しい中、ご来校いただきありがとうございました。臨時休業中のご家庭での様子についてが話題の中心となりましたが、前年度までの引き継ぎ内容を振り返りながら個別の支援計画(「すとリーむ」のメインプラン)の作成ができました。保護者の方々が、日常的にお子さんの様子をしっかりと見取られていることが、たいへん参考になりました。今後は、個別の指導計画の作成に入ります。発達検査等の認知特性に合わせた具体的な計画内容については、次回(7月前後)の面談の折に合意形成させていただく予定です。

教室参観・三者面談は延期します。

例年、6月に実施しております担任・コーディネーターによる教室参観(そだちの教室の指導の様子の見学)、及び、三者面談(保護者・在籍校担任・(コーディネーター)・そだち担当)は延期いたします。今後の実施時期については未定です。

6月 さんの通級予定 日程表※色のついている日が通級日です。

月	火	水	木	金
1	2	3	4	5
8 通級開始	9	10	11	12
15	16	17	18	19
22	23	24	25	26
29	30			

「そだちの教室ってどんなことするの？」③

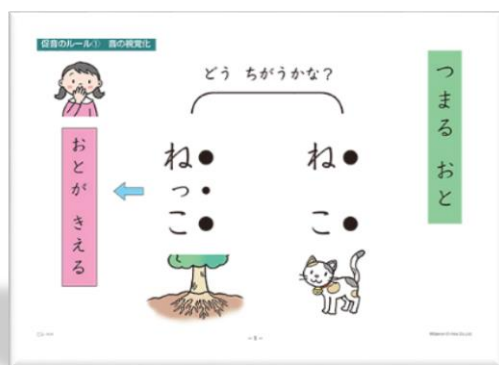
「読み」つまずきの指導について…

MIM(多層指導モデル)って何？

多層指導モデル…少々難しい言葉からスタートしてしまいましたが、MIM は様々な子どものニーズに対応した指導・支援をしていこうというモデルです。このMIM指導法の研究実践結果からは、様々な学力層の子どもを読み・書きに効果を及ぼし、「特殊音節の読み」に限らず、「書く力」や読解等を含む「読書力の総合的な力」を高め、国語科に限らず他教科にまで影響を及ぼすことが明らかになっています。(現在は、算数バージョンも開発中のようです)

日本語は、一文字が一音に対応していますので、比較的容易に読む力を身に付けやすい一方で、「ねっこ」(促音…つまる音)や「きゅうきゅうしゃ」(拗音…ねじれる音、長音…のばす音、拗長音…ねじれてのばす音)などの特殊音節は複雑で、ここにつまずきを見せる子は少なくありません。そだちの教室ではすでに昨年度からこの「MIM」による特殊音節の指導を行っておりますが、子どもたちは大変意欲的に活動しています。MIMの特殊音節指導のポイントは次の通りです。

☆視覚化や動作化を通じた「音節構造の理解」



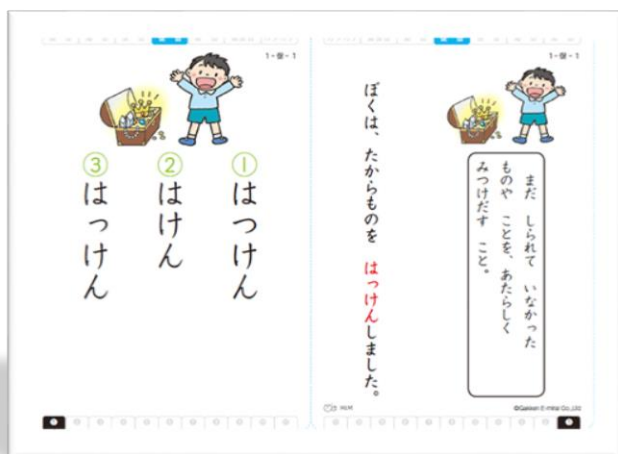
●で視覚化



手で動作化

☆(一字ずつでなく)かたまりとして語を捉えることによる「読み速度の向上」

☆日常的に用いる語彙の拡大と使用



左の「ことば絵カード」を用いることで、語をかたまりとして捉える活動だけでなく、言葉の意味の理解を深め、単語から文章へと広げていく学習も行っていきます。